

福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」

着ぐるみ使用・動作マニュアル

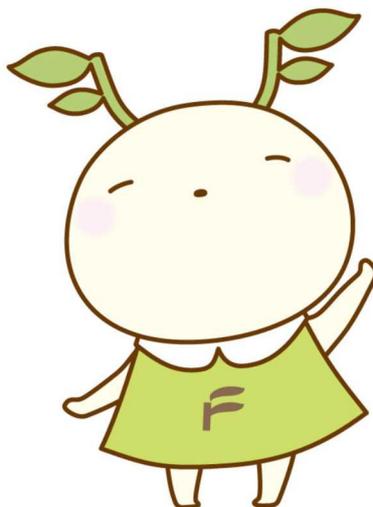
<目次>

1. はじめに	3 ページ
2. 着ぐるみの使用について	〃
3. 事前の確認事項	〃
4. 注意事項	4 ページ
5. 装着・装演	5 ページ
6. 補助者	6 ページ
7. 着脱の方法	7 ページ
8. 貸し出し物品	10 ページ





～ めばえちゃんプロフィール ～



名前	めばえちゃん
年齢	4才
性別	女の子
誕生日	4月7日
出身地	福島県阿武隈山地
性格	のんびり屋、いつもニコニコ
将来の夢	子どもが大好きで将来幼稚園の先生になることを夢見ている(時々大学の授業に顔を出す)
好きな食べ物	阿武隈高地から流れる水
好きなこと	運動会で応援すること。気合が入ると福島県の旗を持って応援する
嫌いなこと	早起き、走ること
好きな言葉	胸を張って歩こう
特技	木とお話することができる
お気に入り	うつくしまふくしま未来支援センターの方に作ってもらったワンピース
お仕事	福島っ子の応援、福島県製品のPR、福島県の復旧・復興のお手伝い、福島大学のPR

<設定>

めばえちゃんは、福島県阿武隈高地の深い森に棲んでいた**木の妖精**。

平成23年3月のある日、双葉郡から福島市へ移動する車の列に付いて、知らず知らずのうちに福島大学にたどり着きました。

うつくしまふくしま未来支援センターに住み着き、活動を見ているうちに福島県のみならず、特に子ども達を力づけるため活動したいと決意し、平成25年3月11日、センター長から47人目のセンター員として辞令を受けました。

その後、うつくしまふくしま未来支援センターのみならず、福島大学の取組みを幅広く地域社会に広報するなどの活躍が認められ、平成29年4月に「福島大学公式マスコットキャラクター」として任命されました。



1. はじめに

この着ぐるみ使用・動作マニュアルは、福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」の着ぐるみを正しく使用していただくために、その使用方法や注意事項についてまとめたものです。めばえちゃんが大学構成員のみならず、地域の皆様など多くの方々に親しまれ、愛されるよう様々な場面に活用していただきますようお願いいたします。

2. 着ぐるみの使用について

着ぐるみに関する著作権は福島大学に帰属します。着ぐるみを使用する場合は、『福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」着ぐるみ使用に関する取扱いについて』に基づき使用申請を行い、必ず事前に学長の許可を得てください。

着ぐるみの使用は、このマニュアルに従って正しく使用してください。マスコットキャラクターのイメージを壊すような動作をしたり、パーツを装着したりして使用することはできません。

3. 事前の確認事項

着ぐるみの使用申請をする前に、以下の点を必ず確認しておくこと。

(1) 人員体制

装着・装演をするときは、2人以上で交替して行う体制が理想です。

補助者は、必ず1人以上つけ、着脱時や移動時などの補助を行う。

子どもが集まるイベントでは、補助者を必ず複数人つける。

装着者および補助者は、必ずこのマニュアルを熟知しておく。

イベント等においては、演出などについて主催者や司会者と十分に打ち合わせを行う。

(2) 運搬車両

保管ケースを積載できる車両および2人以上の運搬人員を確保する。

(3) 控え室の確保

控え室は、着ぐるみを広げ、着替えることのできる十分なスペースがある部屋を用意する。

控え室は外部から覗かれることがないように留意する（関係者以外立入禁止の措置等）。

着ぐるみを置くビニールシートを準備する（汚れた床や地面に直接置くことは厳禁）。

ステージ、登場ポイントに近い場所が望ましい。

(4) めばえちゃんのサイズ

控え室から装演場所までの動線上（出入口扉等）、めばえちゃんが通ることができるか予

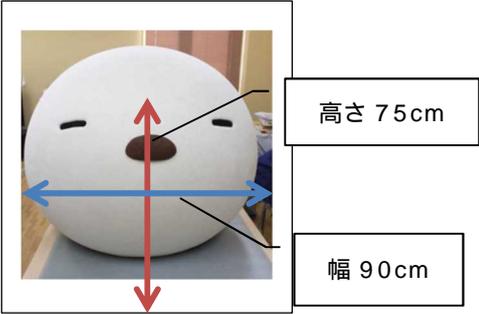
め確認する。

4 . 注意事項

(1) イメージ保守

	<p>装着・装演者は、<u>めばえちゃんのイメージを損なうような動作等をしないこと、また、させないこと。</u></p>
	<p>めばえちゃんのイメージとして、プロフィールを熟知すること。 「4才の女の子で、のんびり屋の木の妖精。」が基本です。</p>
	<p>着ぐるみ装着時は、声を出さないこと。また、公衆の面前（特に子どもの前）での着脱は行わないこと。</p>

(2) 着ぐるみの取扱い及び使用環境

<p>着ぐるみは、柔らかい素材でできているため、輸送、保管の際には、十分注意すること。</p> <p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none">・めばえちゃんのサイズ 頭部 幅 90cm 高さ75cm 奥行80cm・使用先の出入口を通れるか・運搬車両に積載できるか	
<p>雨天・荒天時は、屋外での使用はしないこと。</p> <ul style="list-style-type: none">・使用中に降雨・降雪となった場合は、その時点で使用を中止し、タオル等で水気を拭き取り、十分乾燥させること。・雨・雪が止んだとしても、地面が濡れているため着ぐるみが汚損する可能性がある場合は、使用しないこと。	
<p>強風の場合は、転倒等のリスクが高いため、使用中止または活動時間を短くすること。</p>	
<p>火気等危険物の周辺で使用しないこと。（装着したままの喫煙は厳禁！）</p>	
<p>会場の気温、天候等を考慮し、着ぐるみ内部が高温となるため水分補給や頸部等の冷却など、十分な暑さ対策を講じること。また、長時間装着する場合は、適宜休息をとるなど、無理のない装着を心掛けること。</p>	
<p>一度の活動時間は、屋内外問わず冬場20分、夏場10分を目安とすること。 （装着・装演をするときは、2人以上で交替して行う体制が理想です）</p>	
<p>使用后、脱いだ着ぐるみは、汚れていない安定した場所に静かに置くこと。頭部は、顔の正面を床側に向けて置かず、かぶる穴の部分を下に向けて置くこと。直接地面に置か</p>	

	ないよう注意すること。
	脱いだ後、できるだけ早く着ぐるみ内部の汚れを布等で拭き取った上で、除菌スプレーなどを吹きかけてから乾かすよう心がけること。
	使用後は、風通しのよいところで陰干し、十分に乾燥させてから、返却すること。
	運送及び使用中に破損や汚損があれば、協議のうえ、申請者の責任と負担により修理やクリーニングを行うこと。
	汚損、破損等については必ず返却時に報告すること。 (H29.4 月現在、胴体(左肩あたりに直径10 cm程度の染みあり。)
	万が一、事故が発生した際は着ぐるみの使用を取り止め、直ちに必要な救護措置を取り、速やかに総務課へ報告すること。

5 . 装着・装演

(1) 装着者

	装着者は、身長165cm以下の方が適任です。 (165cm以上の方が装着するとマスコットキャラクターのイメージが損なわれる。)
	基本1人で歩きますが、着ぐるみ装着時は、視野が狭く、音声も聞き取りにくくなるので、安全対策のため装演中や移動時においても必ず補助者を一人以上つけること。
	足下の視界が悪く、幼児と接触する恐れがあるため、急に振り向いたり歩き出したりすることは避けること。また、着ぐるみ自身の転倒にも注意すること。
	かわいらしい動きをしてください。また、着ぐるみは手足が短いため、小さく動かず、ややオーバーアクション気味にゆっくり動いてください。 基本のポーズ ・ほっぺたを触る、手を振る、ペンギンのポーズ、体を左右にゆ～らゆら ×禁止動作 ・全力で走る。全力でジャンプする。階段をジャンプで降りる。
	めばえちゃんのイメージダウンにつながる行為・動作は絶対にしないでください。
	小さな子どもとの握手はできるだけ低い姿勢で行ってください。ただし、幼稚園児以下は、目の前に来ると中からは姿が全く見えません。その状態でしゃがむとぶつかる可能性があるため、補助者の動作の指示に従ってください。
	人前では発声しないでください。やむを得ず声を出す必要がある場合は、関係者以外に絶対に聞こえないよう、細心の注意を払ってください。
	着ぐるみ内部は高温多湿となるため、1回の使用を20分程度(夏季屋外は10分程度)とし、十分な休憩をとるとともに、水分補給を行うこと。複数人が交代で装着することが望ましいです。
	想像以上に体力を消耗するため、装着時間を守り無茶な行動は控えること。

(2) 装着時の服装等について

装着の際は、以後の利用者が快適に使用できるよう、素肌が直接着ぐるみに触れないようにしてください。夏季に使用する場合、着替え一式（下着を含む）を持参することを推奨します。

上半身	長袖シャツ（汗を吸いやすい綿等の生地のもの）
下半身	ズボン（ジャージ、スパッツ等）
頭部	基本的に不要だが、夏季など汗を掻きやすい人はスポーツ用ヘアバンドやバンダナを装着することが望ましい。
手	着ぐるみ手内部に附帯しているミトンを装着すること。 （素手や軍手では、握手の際、人の手の感触が伝わってしまうため）
足	靴下（裸足は禁止）
その他	保冷剤入りタオルを頸部にあてる。 汗拭きタオル

6. 補助者

	補助者は、周囲に常に注意を払うとともに、装着者の体調を伺うなど、声掛けをすること。「トイレに行きたい」「体調が悪い」時のサインを決めておくが良い。
	補助者は、めばえちゃんに関する周囲からの質問に対応するため、めばえちゃんプロフィールを持ち歩くと良い。 （「中に誰が入っているの？」等の回答は「めばえちゃんですよ」と答える。）
	補助者は、狭い通路を歩く時、階段昇降時など、手を繋いで歩く必要がある場合、めばえちゃんを引っ張らないように、めばえちゃんのゆっくりの動作に合わせること。
	めばえちゃんとは、「つかず離れず」を心掛け、段差や障害物、子供などの周囲の情報を、めばえちゃんに声をかけながら細かく伝えること。（子どもが集まるイベントでは、補助者を複数つけることが望ましい。） （声掛けの例） 敬語は使わない。 「めばえちゃん、右側にお友達（子ども）が来たよ。」 「めばえちゃん、足元に20cmの段差があるよ。手をつなごう。」 「めばえちゃん、目の前にお友達（子ども）が来たよ。ゆっくりしゃがんで握手をしてね。」
	控え室外で装演者と無駄話をしない
	【重要】補助者は周囲の状況に絶えず気を配ってください。 着ぐるみへの危害、パーツや着物を引っ張るなどのいたづらをする人には毅然とした

	態度で注意してください。軽く頭を叩かれるだけでも、中に大きく響きます。また、ドリンクやアイスを持っている人を近づけないでください。
	万が一、事故が発生した際は着ぐるみの使用を取り止め、直ちに必要な救護措置をとり、速やかに総務課へ報告すること。

7. 着脱の方法

(1) 着るとき

着脱の際は、必ず補助者を 1人以上付け、関係者以外に絶対に目撃されないよう、着ぐるみ用控え室などで着脱を行ってください。特に、子供の多い場所では、控え室内まで付いてくるようなことがないように注意してください。

また、屋外での着替え等にあたっては、シート等の上で行い、**本体が直接地面に触れないよう注意**してください。

<p>装着者は、長袖シャツ、ジャージ等の軽装になる。必要に応じて、手袋やヘアバンドを着用する。</p>	<p>かぼちゃパンツを履く。</p>
	
<p>靴を履く。(中にサンダルが入っている。足の甲をマジックテープで留める仕様)</p>	
 <p>かぼちゃパンツのマジックテープと靴のマジックテープをつける。</p>	 <p>中に入る人の足が見えないように注意!</p>



これは足が見えているので

NG です ×

ワンピースを着る



注) 頭をかぶる際、中のベルトを固定するため、まだ手は中に入れない。



背中のファスナーは、開けなくても着脱できる。

たすきをかける。(ずれないようにテープやクリップで固定すると良い)

頭をかぶる。

手をはめる。



中のヘルメットのベルトを固定するまでは補助者に頭を支えてもらう。

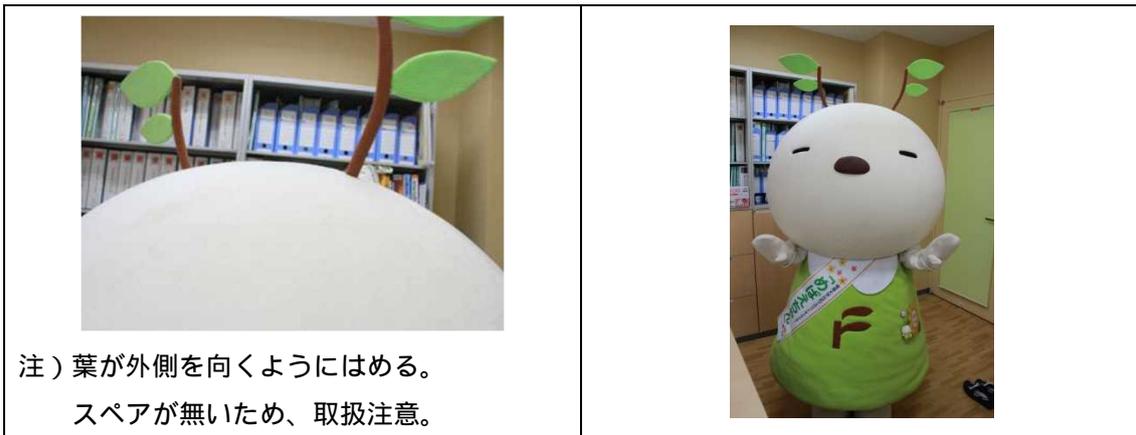
注) 補助者は、角を刺す穴に指を入れて持つ(へこみ防止のため)



補助者に手をはめてもらい、手首のマジックテープを留める。

角をはめる。

完成



(2) 脱ぐとき

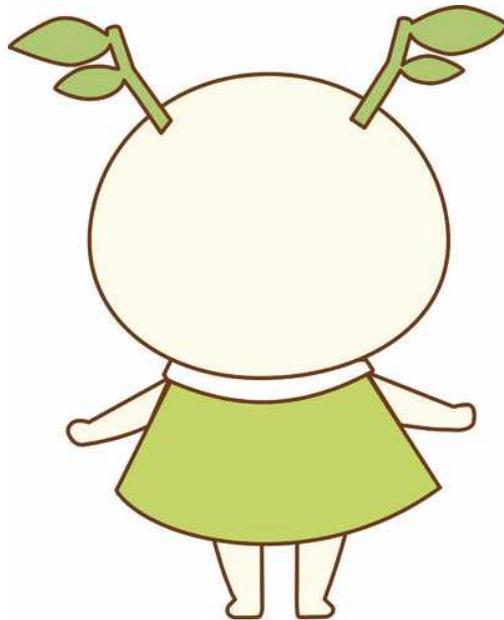
	補助者が角を外す。
	補助者は、装着者の手首のマジックテープを外し、素手を出すのを手伝う。
	装着者は、頭部に手を潜り込ませ、ヘルメットのベルトを外す。
	補助者は、装着者がヘルメットのベルトを外したことを確認してから、頭部を外す。
	靴を脱ぐ。
	ワンピースを脱ぐ。
	かぼちゃパンツを脱ぐ。
	頭部の内側やサンダルの水分や衣服の汚れなどを清潔な布で拭き取り、消臭剤・除菌スプレーを吹き付ける。 1の(2)の ~参照

8 貸し出し物品

頭部		角 (2本)		靴	
ワンピース		かぼちゃ パンツ		着ぐるみ 収納巾着	

たすき		プラカード		その他 着ぐるみ運搬用の箱 除菌スプレー 消臭スプレー
-----	---	-------	---	--------------------------------------

自分で用意	着替え・タオル（汗拭き用・着ぐるみ拭き用）・暑さ対策グッズ 等
--------------	------------------------------------



本マニュアルは、平成29年4月3日から適用する。

附 則

本マニュアルは令和元年7月1日から施行する。

【担当】福島大学総務課広報係

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL : 024-548-5190 E-mail: kouho@adb.fukushima-u.ac.jp